

迎春

ゆるやかに動いていくまちづくりを



播磨町長

清水ひろ子

新年 明けまして おめでとうございます。
皆さま方におかれましては穏やかな新年を迎えられたことと思います。本年も町政の推進に温かいご理解とご協力をお願いいたします。

昨年から町内各所でタウンミーティングを実施してきております。また、第4次播磨町総合計画の策定にあたってのアンケートなどでも多くのご意見をいただいております。その中で「これから播磨町で住み続けていくためには何があったらよいと思いますか」という問いに対して、「医療機関や福祉施設が整っていること」「治安のよいこと」「交通の利便性がよいこと」が年齢別、地域別それぞれの統計において共に上位を占めています。日々の生活を穏やかに、ストレスなく、心豊かに暮らしていくことこそ、多くの住民が願っておられるところだと思います。また、播磨町のまちづくりとして目指すべき方向でもあろうかと思っております。

今年は年頭にあたり「緩動」という言葉を掲げます。「まちが緩やかに動いていく（少しずつ住みやすく変化していく）」ことが、いつか住みやすくに「感動」される「まちづくり」になりますようにとの願いを込めて。

人々の平和な日常生活は急激な変化の中にはなく、少しずつきめ細やかに丹精込めて整えていくものだと思います。行政としてなすべきことを、ゆっくりではあっても、着実に前進させてまいりたいと思っております。

町民の皆さんと協働で新しい播磨町の創造を



播磨町議会議長

杉原 延享

新しい年を迎え、謹んで町民の皆さま方のご健勝をお喜び申し上げます。昨年は、国の内外ともに多事多難の年でありました。特に100年に一度といわれる世界的な金融破綻に端を発した嵐は日本列島を吹き荒れ、資源の乏しいわが国には、最も深刻な経済不況となって私たちの生活を脅かしております。

政府におきましても、経済の建て直しに力を入れておりますにも関わらず、住民の生活に直結した末端の地方自治体には、地方分権の三位一体改革と相まって地方財政はますます困窮の度を強くしております。

しかしながら、産業の振興や雇用対策・医療及び福祉といった基本的な住民生活に必須な行政サービスは安定的に提供し、むしろ増高しなければなりません。また、安全・安心（食・震災・防犯）、環境（地球温暖化）、教育（人間形成）の問題等々行政に課せられた課題は山積しております。

一方、分権改革により住民が主体で自己決定・自己責任で豊かな町づくりの実現ができる時代です。

山積している行政課題の解決には、住民の皆さんと対話を進め、共に語り合い、共に知恵を出し合い、共に汗をかきながら、協働の精神で新しい播磨町を創造しなければなりません。

議会としても住民との対話による相互理解を深め住民福祉の向上と住民の皆さんが安心して過ごせるよう、なお一層の努力をまいります。新しい年が皆さまにとって幸多い年でありまことを祈念申し上げます。

あけまして
おめでとう
ございます

議長

杉原 延享

副議長

古川 美智子

議員（議席順）

勝 樂 恒 美
毛 利 豊
小 原 健 一
藤 原 秀 策
岡 田 千 賀 子
河 南 博
田 中 久 子
中 西 美 保 子
渡 辺 文 子
福 原 隆 泰
松 本 か を り
河 野 照 代
宮 尾 尚 子
藤 田 博
小 西 茂 行
永 谷 修



公職選挙法により、政治家は、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。

ご理解とご協力をお願いいたします。